



<趣旨>

国内外の観光客を増やし、街の賑わいを創出して、横浜のナイトタイムエコノミーを活性化することを目的にこのイベントを開催します。

都心臨海部のリング上のつながりを照明の演出により際立たせ、港のスケール、横浜らしさを感じられるような夜間景観を創造しました。令和3年度は、みなとみらい21地区から山下ふ頭に至る地区ごとに個性を感じながらも、インナーハーバーとしての一体感を照明の連続性と変化する光の動きによりダイナミックに演出しました。

<報告内容>

1. 実施概要
 2. メイン会場（新港中央広場）
 3. 特別演出
 4. 参考（1）PORTAL（光のオブジェ）
（2）ART CRUISE（回遊イベント）
（3）東京藝術大学大学院映像研究科との連携
 5. 開催結果
 6. 来場者の声（①アンケート結果・②SNS投稿）
 7. まとめ
- [参考資料] 令和3年度創造的イルミネーション事業展開状況

1. 実施概要

実施時期

令和3年11月18日（木）～12月26日（日） 17:00～21:05
（特別演出：17:30/18:00/18:30/19:00/19:30/20:00/20:30/21:00 各5分間）

実施体制

主催：クリエイティブ・ライト・ヨコハマ実行委員会
共催：横浜市
連携：クリエイティブ・ライト・ヨコハマ推進協議会

【制作関連企業】共同事業体

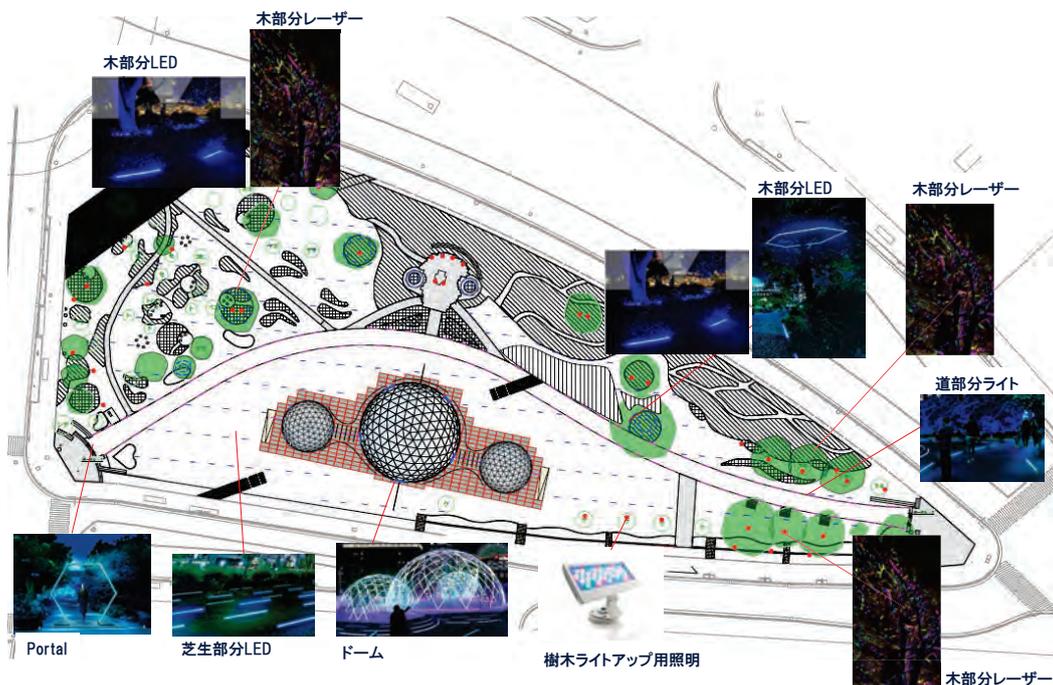
全体統括：ソニーPCL株式会社
事務局：株式会社フロンティアインターナショナル
イルミネーション等の実施：株式会社プリズム
企画演出、ディレクション：david watts inc.
クリエイティブ・ディレクター：竹川潤一（david watts inc.）

【脱炭素パートナー】



2. メイン会場：新港中央広場 常時の演出

新港中央広場イルミネーション概要



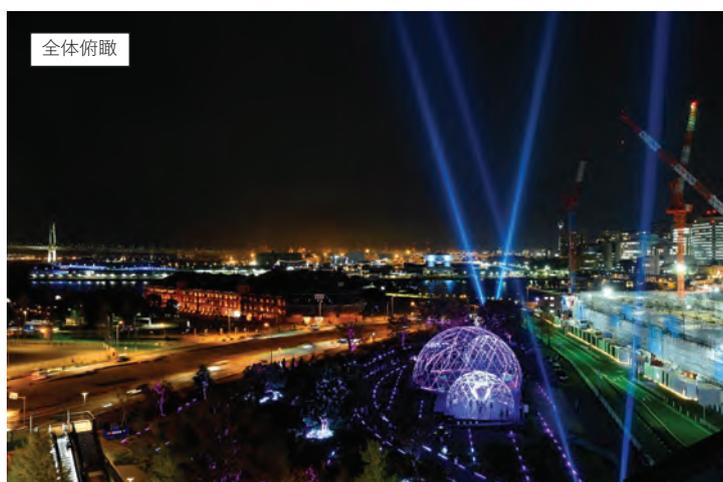
2. メイン会場：新港中央広場 常時の演出

(ガイドラインP44) 夜間景観を演出する
照明色温度3,000ケルビン程度



2. メイン会場：新港中央広場 特別演出

(ガイドラインP44) 夜間景観を演出する
照明色温度3,000ケルビン程度

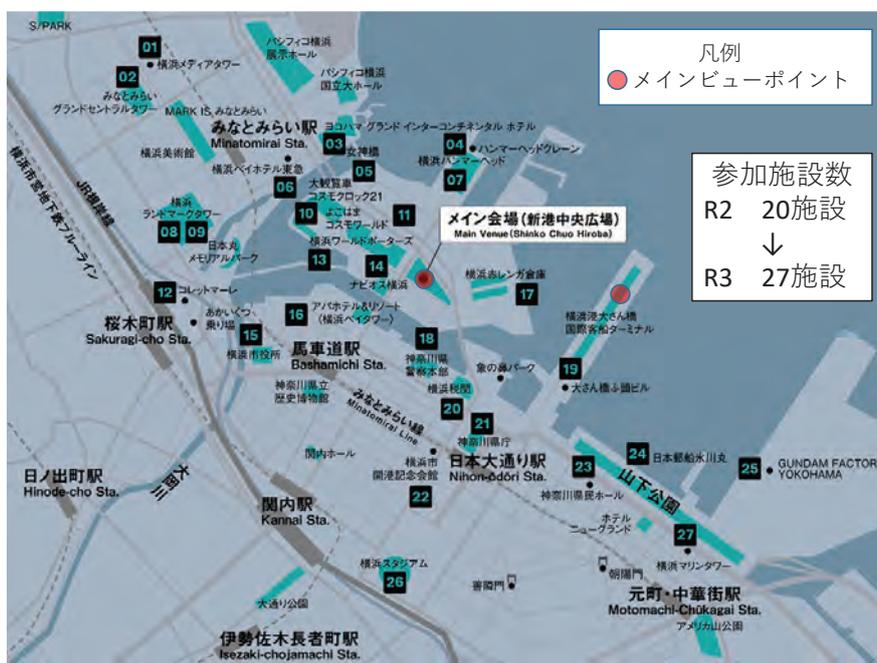


3. 特別演出

5分間の特別演出

(17:30/18:00/18:30/19:00/19:30/20:00/20:30/21:00 各5分間 40分)

壁面のカラーライトアップとサーチライト等による都市スケールの光の演出



3. 特別演出協力施設（1）

地区	施設名	ライトアップ連携（全27施設）	R3 新規参加	備考
中央	1 横浜メディアタワー	6台仮設		色温度規制3000K範囲外
中央	2 みなとみらいグランドセントラルタワー	施設のライン照明・フルカラー投光器		色温度規制3000K範囲外
中央	3 ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル	13台仮設		色温度規制3000K範囲外 サーチライト1台有り
中央	4 横浜ベイホテル東急	施設のライン照明	★	色温度規制3000K範囲外
中央	5 横浜ランドマークプラザ	施設のフルカラー投光器		色温度規制3000K範囲外
中央	6 横浜ランドマークタワー	施設のフルカラー投光器	★	色温度規制3000K範囲外
中央	7 よこはまコスモワールド	施設のフルカラー投光器		色温度規制3000K範囲外
中央	8 コレットマーレ	施設のライン照明・フルカラー投光器		色温度規制3000K範囲外
新港	9 女神橋	施設のフルカラー投光器	★	色温度規制3000K範囲外
新港	10 ハンマーヘッドクレーン	6台仮設	★	色温度規制3000K範囲外

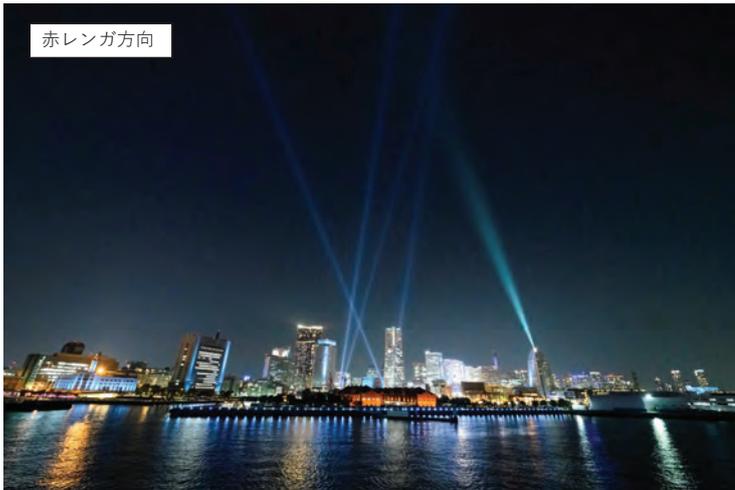
3. 特別演出協力施設（2）

地区	施設名	ライトアップ連携（全27施設）	R3 新規参加	備考
新港	11 横浜ハンマーヘッド	施設のライン照明（建物外周）		色温度規制3000K範囲外
新港	12 大観覧車コスモクロック21	施設のライン照明		色温度規制3000K範囲外
新港	13 横浜ワールドポーターズ	12台仮設 + 建物頂部外周		色温度規制3000K範囲外
新港	14 ナビオス横浜	7台仮設		色温度規制3000K範囲外
新港	15 赤レンガパーク水際線	76台仮設	★	色温度規制3000K範囲外
関内	16 アパホテル&リゾート<横浜ベイタワー>	19台仮設		歴史的界隈形成エリア
関内	17 横浜市庁舎	施設のフルカラー投光器		
関内	18 神奈川県警察本部庁舎	6台仮設		
関内	19 横浜税関	27台仮設		歴史的界隈形成エリア
関内	20 大さん橋ふ頭ビル	施設のフルカラー投光器	★	

3. 特別演出協力施設（3）

地区	施設名	ライトアップ連携（全27施設）	R3 新規参加	備考
関内	21 横浜市開港記念会館	施設のフルカラー投光器		歴史的界隈形成エリア
関内	22 神奈川県庁本庁舎	施設のフルカラー投光器		歴史的界隈形成エリア
関内	23 神奈川県民ホール	ライン照明 11台仮設	★	
関内	24 山下公園水際線	58台仮設	★	
関内	25 GUNDAM FACTORY YOKOHAMA	施設のフルカラー投光器	★	
関内	26 横浜スタジアム	施設仮設のフルカラー投光器		
関内	27 横浜マリンタワー	施設のフルカラー投光器		

3. 5分間の特別演出（大さん橋からの景観）



サーチライトで演出の動きを強調し、よりダイナミックな演出とすることができた

港の夜間景観を活かしたパノラマスケールでの演出



3. 5分間の特別演出時（みなとみらいグランドセントラルタワー 横浜メディアタワー）



MM中央地区のイルミネーション「ミライト」とも連携し、街全体での演出を実施

ライトアップについては色温度3000Kを超えるものだが、時間限定の演出として非日常感を創出できた

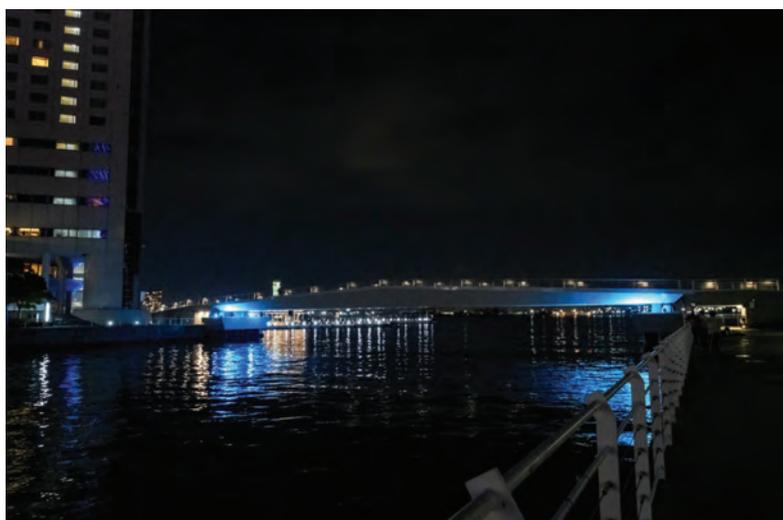


3. 5分間の特別演出時 (ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル 横浜ベイホテル東急)

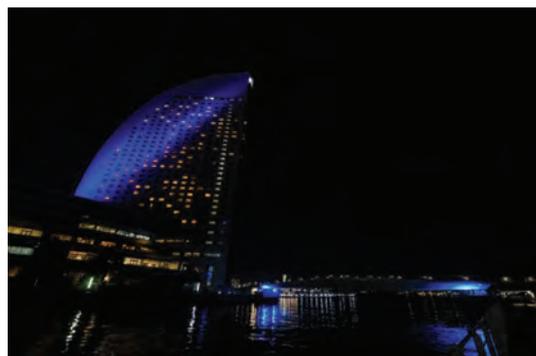


シンボリックな形状を活かしたライトアップ
女神像（インターコンチネンタルホテル）より
象徴的にサーチライトを投射

3. 5分間の特別演出時 (女神橋)



MM中央地区と新港地区の結節点を強調



3. 5分間の特別演出時 (ハンマーヘッド、ハンマーヘッドクレーン)



3. 5分間の特別演出時 (横浜ランドマークタワー、ランドマークプラザ)



ランドマークタワー頂上照明もR3年度に新規参加し、みなとみらい全体で見たときに、より一体感が感じられるようになった



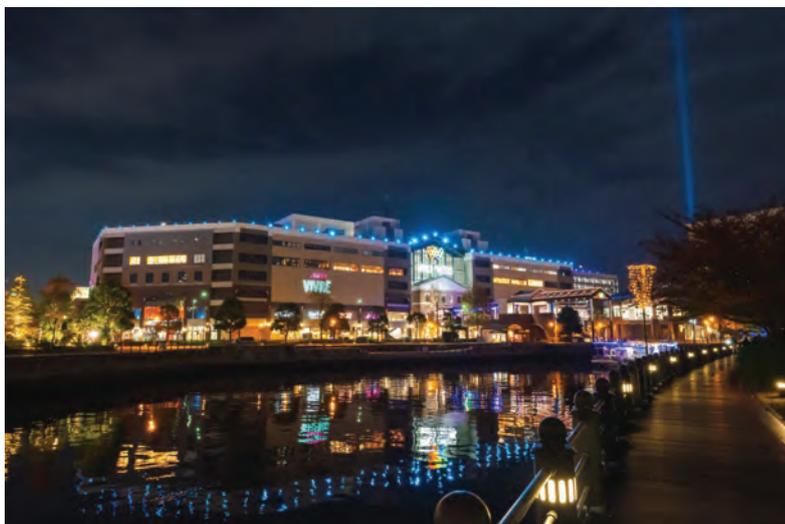
3. 5分間の特別演出時（大観覧車コスモクロック21 コスモワールド）



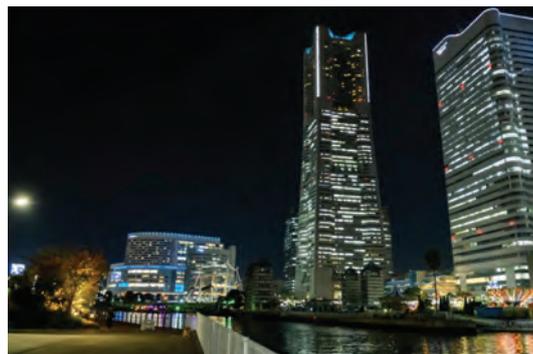
みなとみらいのシンボルでもある観覧車と遊園地を
一体的に演出
観覧車は遠景からも視認できるため、重要な演出ポ
イントとなっている



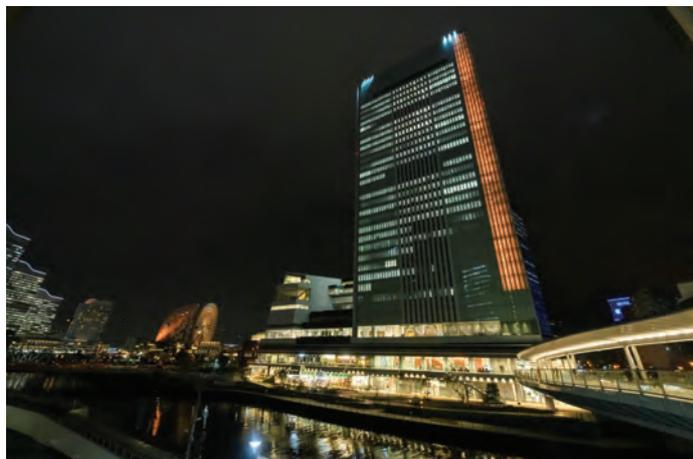
3. 5分間の特別演出時（ワールドポーターズ、コレットマーレ）



みなとみらいの巨大商業施設も一体的に演出



3. 5分間の特別演出時（ナビオス横浜、横浜市庁舎）



通常とは異なる照明で非日常感を演出

3. 5分間の特別演出時（アパホテル&リゾート〈横浜ベイタワー〉）



臨港プロムナード下より

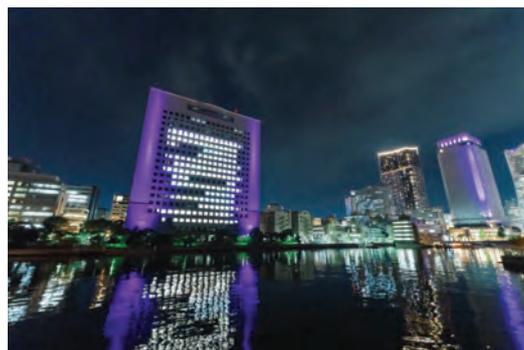
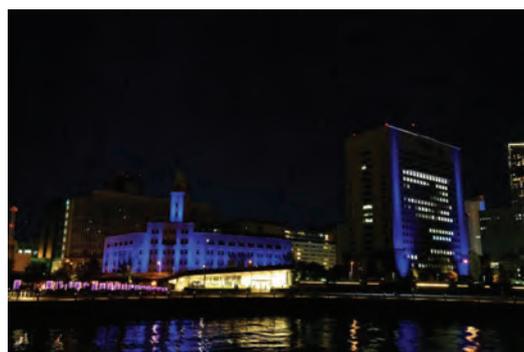
遠景から俯瞰した時に演出上重要なポイントとなっており、水際線沿いに立地する演出上重要な位置にあるため、当イベントの参加施設として不可欠。
建築物の頂部と水際線に面する5階以上の壁面の角の部分（4階に照明設置）を照らしているだけで、隣接する「歴史的建造物」の景観を阻害しません。

3. 5分間の特別演出時（赤レンガパーク水際線、大さん橋ふ頭ビル）



新港中央広場からのサーチライトも含め、大さん橋から見た夜景全体を、ダイナミックかつ統一した演出として実施している
水際線の照明を新規に設置したことにより、光の水面への映り込みがより綺麗に見える要素となった。

3. 5分間の特別演出時（横浜税関、神奈川県警察本部庁舎）



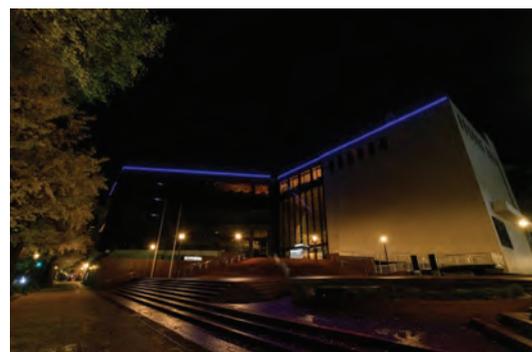
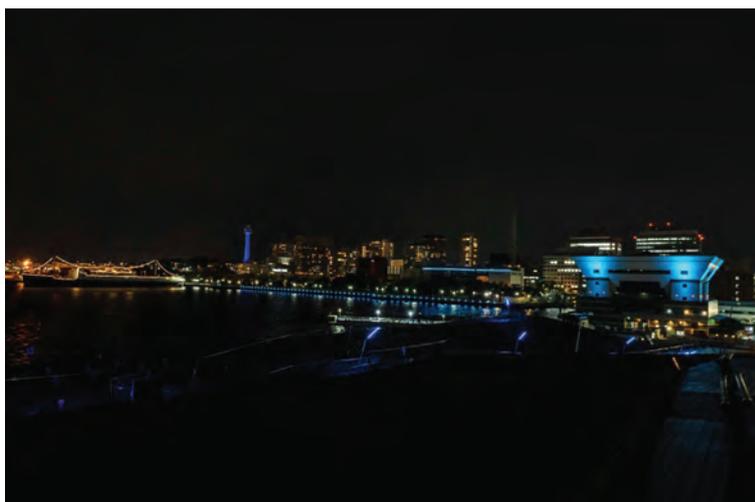
歴史的界隈形成エリア及び隣接する区画のライトアップだが、周囲と一体となった効果的な演出ができた

3. 5分間の特別演出時（神奈川県庁本庁舎、横浜市開港記念会館）



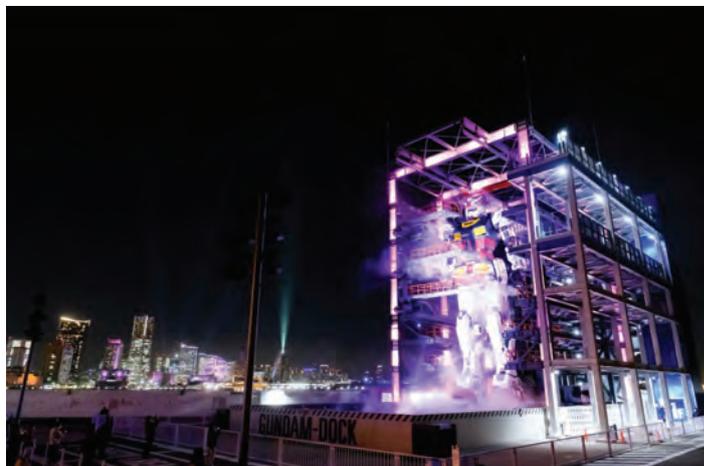
歴史的建造物も通常照明とは異なる表情を演出

3. 5分間の特別演出時（神奈川県民ホール、マリンタワー）



R3は山下公園水際線・県民ホール・ふ頭ビルが新規参加したことにより、山下公園側も港全体の景観を活かした演出とすることができた

3. 5分間の特別演出時（横浜スタジアム GUNDAM FACTORY YOKOHAMA）



民間の施設とも連携
横浜都心臨海部全体での一体感を創出した

3. 5分間の特別演出（その他ビュースポットからの景観）



4. 参考（1）PORTAL（光のオブジェ）設置場所



4. 参考（2）ART CRUISE（回遊イベント）実施内容

< 実施内容 >

- ・ 日時：11月18日（木）、19日（金）、20日（土）
23日（祝）、26日（金）、27日（土）
28日（日）、29日（月）
12月3日（金）、4日（土）【計10日間】
（雨天中止）11月21日（日）、22日（月）、30日（火）
【計3日間】

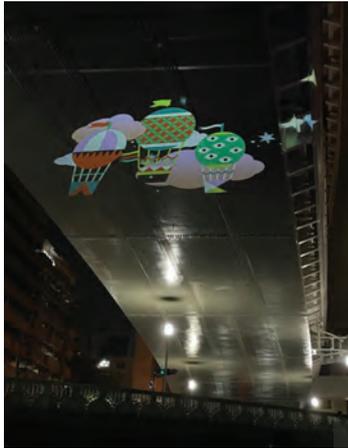


- ・ 航路：ピア象の鼻⇔石川町仮設棧橋
- ・ 便数：2便/日
 - ① ピア象の鼻発 17:25~18:15
 - ② 石川町発 19:20~20:10
- ・ 活用船：かなもえ号（京浜フェリーボート株）
- ・ 乗船者数：計455人
ツアー募集527人に対し、506人分の販売実績
（中止回含む、販売実績比率96%）



4. 参考（2）ART CRUISE（回遊イベント）実施内容

<実施時写真>



4. 参考（3）東京藝術大学大学院映像研究科 連携イベント 実施内容

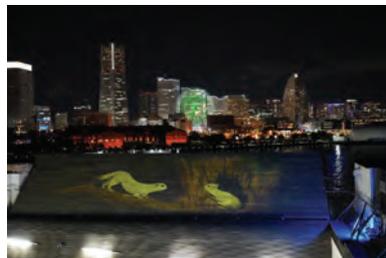
<実施内容>

東京藝術大学とコラボし、ビューポイントである横浜港大さん橋国際客船ターミナル屋上に、アニメーション専攻の学生の作品を中心に投影した。

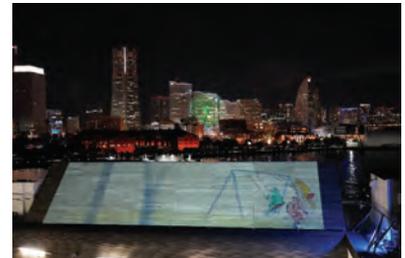
- ・実施期間：11月18日（木）～11月23日（火・祝） 計6日間 17：00～20：00
- ・実施場所：横浜港大さん橋国際客船ターミナル 屋上（南側）



今井理子



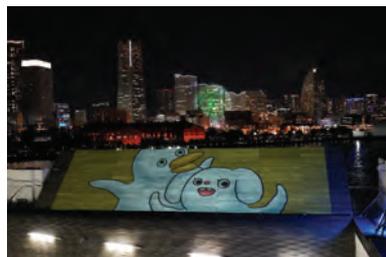
上平晃代



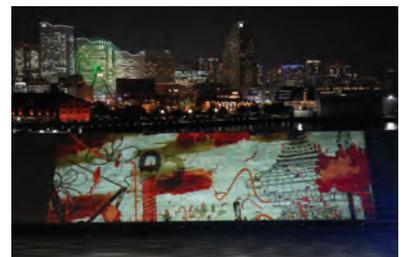
李叔芹



西野朝来



松本伊代



川畑那奈

5. 開催結果

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
①来場者数	約131万人(39日間) ※うち、広場来場者数約89万人 ※うち、ポータル来場者数約42万人	約85万人(37日間) ※うち、広場来場者数約53万人 ※うち、ポータル来場者数約32万人	約55万人(57日間)
②市内への経済波及効果	約84億円	約53億円	約45億円
③広告価値換算値	約5億5600万円	約5億円	約3億円
④メディア露出件数	872件	680件	626件
⑤海外メディアでの露出件数	Web121件	Web119件	Web110件

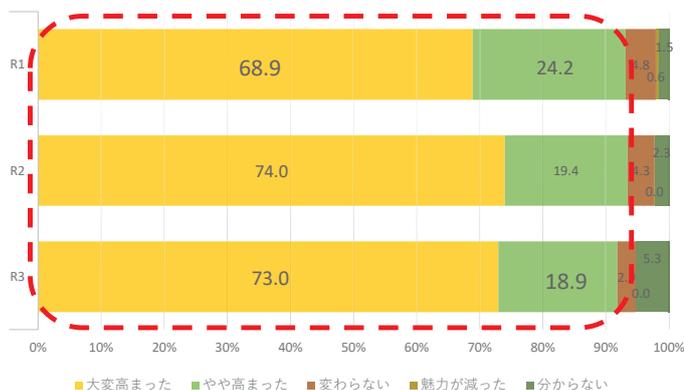
- ・新型コロナの第5波、第6波の間での開催だったこともあり、コロナ禍でありながら約131万人に来場いただけた。
- ・都心臨海部10か所に設置したPORTALを約42万人が通過しており、夜間の回遊性向上にもつなげることができた。
- ・大さん橋にも約2万人以上が来場しており、演出の視点場としての認知度を昨年以上に高めることができた。

6. 来場者の声(①アンケート結果)

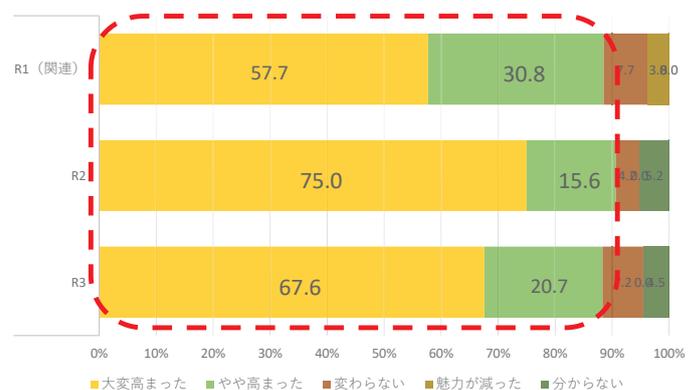
- ①「光で一体的に演出する取り組みにより、横浜の港の夜景の魅力が高まった」との回答は、令和元年度から比較し、魅力が高まったと回答した率は高くなっている。令和2年度、3年度の間は、横ばい傾向である。
- ② イベント満足度と意見の関係については、「夜景がきれい」「まち全体でライトアップされて特別感がある」「音楽に合わせて光が変わっているのに感動した」という意見があった。
- ③ 不満足感がある方からは、「チカチカする」との意見があった。

【来場者アンケートデータ】 Q14-1 光で一体的に演出する取組により、横浜の港の夜景の魅力が高まったと思いますか。

〈新港中央広場〉



〈大さん橋〉



「夜景の魅力が高まった」が継続して約9割を維持している

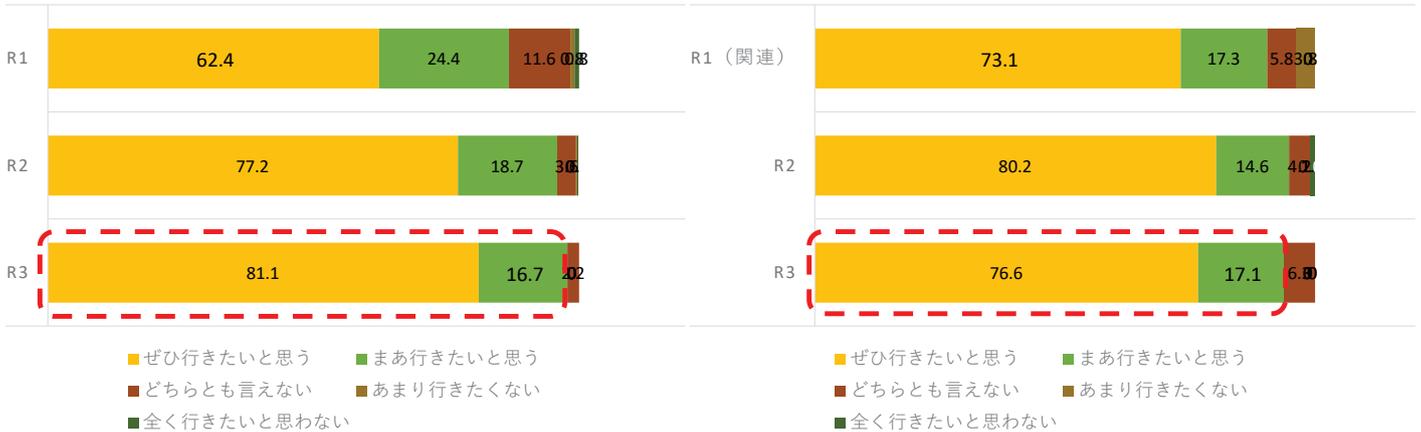
6. 来場者の声(①アンケート結果)

⑤ 次年度の来場意向については、**9割以上の方が、再訪を期待**しており、継続して取り組んでいくことで、積極的な夜間景観の形成への期待に応えていけるものと考えている。

【来場者アンケートデータ】 Q15来年も「ヨルノヨ」が開催された場合、また行きたいと思いますか？

〈新港中央広場〉

〈大さん橋〉



〈令和3年度 来場者アンケート実施概要〉
 実施日: 令和3年11月26日・12月11日・17日・18日 実施場所: 新港中央広場及び大さん橋 回収数529(新港中央広場428、大さん橋11)

6. 来場者の声 (②SNS投稿分析)

<Instagram投稿状況>

・ヨルノヨ関連の投稿数は約**5,750件**(R2:約4,400件 前年比30%増)

<Twitter投稿状況>

・ヨルノヨ関連の投稿数は約**1,040件**(R2:約550件 前年比90%増)

<投稿内容の分析>

・Instagramでは、ドームの写真の投稿が最も多かったものの、前年に比べ、**大さん橋から見た特別演出や六角形の光のオブジェ(ポータル)に関する投稿も増加**しました。

・「前年よりもパワーアップしている」、「進化している」という声に加え、「**来年もこの景色に会いたい**」「**次も楽しみにしている**」という声も多くありました。

・広場の演出については、レーザーによる樹木の演出が綺麗だったというコメントが多く見られました。

・「**街全体が協力して盛り上げている感じが好き**」「**街全体が光で連動しているってほんと凄い。感動してしまう**」など、街が一体となって取り組んでいる事を評価するコメントが多く見られました。

7. まとめ → 令和4年度の事業に向けた景観に関する配慮事項

<演出関係>

- ◎都心臨海部全体での取り組みを継続するが、エリア毎の景観的な特性やライトアップ施設の内容を踏まえつつ、色調等を再検討する。
- ◎サーチライトの活用については、非日常の演出を意識し、効果的に活用する。
- ◎照明による演出と音楽が一体となった体験を提供できることが重要なため、様々な場所で同期した音楽が聴けるようさらなる工夫を検討する。
- 将来的な演出の時期、時間構成等は今後も意見聴取しつつ検討する。

<その他>

- 山下公園側の暗さを指摘している声が多かったため、特別演出の施設の増だけでなく、山下公園側での取り組みについて、検討を進める。
- 演出だけでなく、働く人、住んでいる人へも理解が得られるような取り組みを検討する。（歩行者レベルでの歩きやすい歩行者空間づくりなど）

令和3年度 創造的イルミネーション事業 展開状況



- イルミネーションメイン会場
特別演出ビューポイント
- ★ 特別演出ポイント(継続施設) : 18 箇所
- ★ 特別演出ポイント(新規施設) : 9 箇所
- PORTAL 設置位置 : 12 個 / 11 箇所
- ART CRUISE ルート
- 地域イルミネーション : 25 箇所
(パートナーシップ事業)
- 東京藝術大学マッピングイベント
(11/18-23)